

一般講演 3月28日(土)(第2日)

● 優秀発表賞エントリー演題

講演時刻	第1会場		第2会場	
	講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属
9:00 ～ 9:15	11	<p>● 100084</p> <p>早植・密植における多肥栽培が水稲多収品種「北陸193号」の生育・収量に及ぼす影響</p> <p>宇野史生*¹⁾・島田雅博¹⁾・澤本和徳¹⁾・吉永悟志²⁾</p> <p>(¹⁾ 石川県農林総合研究センター, ²⁾ 農研機構 中央農研センター北陸研究センター)</p>	46	<p>● 100048</p> <p>ダイズ品種「トヨハルカ」の耐倒伏性QTLを導入した「トヨムスメ」の準同質遺伝子系統の耐倒伏性関連形質</p> <p>北畠拓也*¹⁾ M1*・義平大樹¹⁾・山口直矢²⁾</p> <p>(¹⁾ 酪農学園大学, ²⁾ 北海道立総合研究機構十勝農業試験場)</p>
9:15 ～ 9:30	12	<p>● 100081</p> <p>Growth and Grain Filling of Rice Varieties under Salinity Stress during Reproductive Stage</p> <p>Nurwulan Agustiani * M2・Youji Nitta・Naomi Asagi・Fumitaka Shiotsu・Toshiaki Kokubo (The College of Agriculture, Ibaraki University)</p>	47	<p>100015</p> <p>大豆不耕起播種栽培におけるモリブデン付加播種が出芽と生育・収量に及ぼす影響</p> <p>來田康男*・牛尾昭浩・榎悦朗・杉本琢真</p> <p>(兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター農産園芸部)</p>
9:30 ～ 9:45	13	<p>100075</p> <p>水稲鉄コーティング直播栽培における倒伏軽減法の検討</p> <p>第1報 品種と播種量の関係</p> <p>菅野博英*¹⁾・白土宏之²⁾・牧原邦充³⁾・佐々木哲⁴⁾・北川蒼紘¹⁾・門間由美子¹⁾</p> <p>(¹⁾ 宮城県古川農業試験場, ²⁾ 東北農業研究センター, ³⁾ 株式会社クボタ, ⁴⁾ 小泉商事株式会社)</p>	48	<p>● 100238</p> <p>沖縄在来ダイズの収量、開花生態および種子成分特性の解析</p> <p>松茂良興紀*¹⁾・渡邊健太^{1, 2)}・宮里生³⁾・翁長洋子³⁾・川満芳信¹⁾・諏訪竜一¹⁾</p> <p>(¹⁾ 琉球大学農学部, ²⁾ 鹿児島大学大学院連合農学研究科, ³⁾ 内閣府沖縄総合事務局農林水産部)</p>
9:45 ～ 10:00	14	<p>100063</p> <p>寒冷地の水稲無コーティング種子代かき同時播種における代かき回数と播種様式が苗立と収量に与える影響</p> <p>白土宏之*¹⁾・大平陽一¹⁾・山口弘道²⁾・福田あかり²⁾</p> <p>(¹⁾ 農研機構 東北農業研究センター, ²⁾ 農研機構 中央農業総合研究センター)</p>	49	<p>100176</p> <p>畦間ヒエの地上部切除がダイズの根粒着生数と物質生産に及ぼす影響</p> <p>足立文彦*・杉浦妙子・城惣吉・長屋敦・井藤和人</p> <p>(島根大学生物資源科学部)</p>
10:00 ～ 10:15	15	<p>● 100217</p> <p>高温登熟下での水管理の差異が稲の品質に及ぼす影響</p> <p>白矢武士*・佐藤徹・東聡志・金井政人・神戸崇</p> <p>(新潟県農業総合研究所作物研究センター)</p>	50	<p>100212</p> <p>グライ土壌の水田転換畑において前作水稲無代かき栽培後に狭畦密植栽培した大豆の生育、収量</p> <p>松波寿典*¹⁾・進藤勇人²⁾・佐藤敬亮²⁾・佐藤雄幸³⁾</p> <p>(¹⁾ 農研機構 東北農業研究センター, ²⁾ 秋田県農業試験場, ³⁾ 秋田県農林水産部)</p>

ミニシンポジウム 3月28日(土)(第2日)

講演時刻	ミニシンポジウム会場1 (総合校舎41教室)	ミニシンポジウム会場2 (総合校舎42教室)	ミニシンポジウム会場3 (総合校舎43教室)
9:00 ～ 12:00	<p>ミニシンポジウム(1) (9:00～12:00)</p> <p>Agribusiness Model for Future Generations; Agribusiness opportunity generated via agricultural research (次世代のためのアグリビジネスモデル-農業研究を介して生み出されるアグリビジネスとは) オーガナイザー:坂上潤一 (鹿児島大学農学部/海外交流推進委員会)</p> <p>1. IITA's approach for agribusiness-Business Incubation Platform (BIP) project- Haruki Ishikawa (International Institute of Tropical Agriculture (IITA))</p> <p>2. Business integrated to repair of degraded land and reconstruction of local agriculture and industry as well as the society Takashi Kosaki (Tokyo Metropolitan University)</p> <p>3. Breeding and agronomical approaches for improving soybean productivity in Madhya Pradesh of India Koji Tsuji (Chiba University)</p> <p>4. Artificial induction and cultivation of medicinal plants <i>Cistanche deserticola</i> Y.C. Ma and <i>Cistanche tubulosa</i> (Schenk) R. Wigh in China Yongqing Ma (Institute of Soil and Water Conservation, Chinese Academy of Sciences and Ministry of Water Resources)</p> <p>5. The Sleeping Chironomid as a unique tool for applied sciences Takashi Okuda (National Institute of Agrobiological Sciences)</p>	<p>ミニシンポジウム(2) (9:00～12:00)</p> <p>微生物と大豆の生産, 生産現場の環境条件 オーガナイザー:前川富也 (農研機構中央農業総合研究センター)</p> <p>1. マメ科植物のフラボノイド代謝と根粒菌共生 青木俊夫・今泉隆次郎・島村昌幸・明石智義 (日本大学生物資源科学部)</p> <p>2. 黒根腐病菌による根粒窒素固定の停止 前川富也・越智直・島田信二・新良力也 (農研機構中央農業総合研究センター)</p> <p>3. 黒大豆根粒に見られる <i>Agrobacterium</i> 等の感染現象 吉川正巳 (京都府農林水産技術センター)</p> <p>4. ダイズにおけるアーバスキュラー菌根菌共生について 畑信吾 (龍谷大学経営学部・農学研究所)</p> <p>5. 冬作物-ダイズ輪作体系下における共生微生物叢の変化とダイズ生産の関係性 肥後昌男・磯部勝孝・鳥越洋一 (日本大学生物資源科学部)</p>	<p>ミニシンポジウム(3) (9:00～12:00)</p> <p>作物学における数値解析 オーガナイザー:本間香貴 (京都大学大学院農学研究科/若手・男女共同参画WG座長)</p> <p>1. 作物学における数値解析 本間香貴 (京都大学大学院農学研究科/若手・男女共同参画WG座長)</p> <p>2. 栽培管理に役立つ水稻生育モデル開発 吉田ひろえ・佐々木華織・丸山篤志・大野宏之・中川博視 (農研機構中央農業総合研究センター)</p> <p>3. コメ生産事例に基づく収量・品質のばらつき要因の解析 平井康丸・井上英二・岡安崇史・光岡宗司 (九州大学大学院農学研究院)</p>

一般講演 3月28日(土)(第2日)

● 優秀発表賞エントリー演題

講演時刻	第1会場		第2会場	
	講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属
10:15 ～ 10:30	16	<p>100058 秋田県篤農家技術の株稈の高登熟性の形態的・生理的特性 鳥越洋一*¹⁾・児玉徹³⁾・青木優弥¹⁾・北村好弘¹⁾・永尾マル²⁾・沼田洋一²⁾・岩永崇²⁾ (¹⁾ 日本大学大学院生物資源科学研究科, ²⁾ 日本大学生物資源科学部, ³⁾ JA 全農あきた)</p>	51	<p>● 100224 3種の異なる緑肥作物の鋤き込み後の窒素とリンおよび微生物バイオマスの動態 樽井新*¹⁾ D2★・楠元宏尚¹⁾ M1★・宮本拓磨¹⁾ M1★・松村篤¹⁾・立花正²⁾・佐久間太²⁾・桂川尚彦²⁾・和田美由紀²⁾・大門弘幸¹⁾ (¹⁾ 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科, ²⁾ 雪印種苗株式会社)</p>
10:30 ～ 10:45	17	<p>● 100047 温湯消毒法における水稻種子の事前乾燥処理が生育・収量に及ぼす影響 藤田健司*¹⁾・村田和優¹⁾・中岡清典²⁾・金勝一樹³⁾ (¹⁾ 富山県農林水産総合技術センター, ²⁾ 株式会社サタケ, ³⁾ 東京農工大学)</p>	52	<p>● 100214 Using historic socio-economic household survey data to evaluate trends in environmental and economic indicators for rice cropping systems: is it possible? Pasuquin Estela M. *・Johnson-Beebout Sarah・Sato Takahiro (International Rice Research Institute)</p>
10:45 ～ 11:00	18	<p>100044 水稻育苗箱全量基肥栽培における肥料溶出期間と水稻の生育・収量との関係(第3報) 高橋行継*¹⁾・高草木海人¹⁾・脇川祐介²⁾・入月利徳²⁾ (¹⁾ 宇都宮大学農学部附属農場, ²⁾ ジェイカムアグリ株式会社)</p>	53	<p>● 100164 沖縄における播種期の違いが国内市販ヒマワリ6品種の成長に与える影響 寶川拓生*¹⁾ M1★・渡邊健太^{1,2)} D1・河崎俊一郎^{1,2)} D2★・富永淳^{1,2)} D3★・藪田伸¹⁾ PD★・川満芳信¹⁾ (¹⁾ 琉球大学農学部, ²⁾ 鹿児島大学大学院連合農学研究科)</p>
11:00 ～ 11:15	19	<p>100039 ウメおよびミカンの剪定枝は水田雑草防除に有効か 垣内仁*¹⁾・川西孝秀²⁾ (¹⁾ 東京農業大学, ²⁾ 和歌山県農業試験場暖地園芸センター)</p>	54	<p>100156 熱帯におけるデンブン蓄積ヤシの生産性 ーサゴヤシー 山本由徳 (高知大学農学部)</p>
11:15 ～ 11:30	20	<p>● 100034 Effect of organic fertilizers on growth, yield and grain quality of rice at different planting densities Kakar Kifayatullah * M1・Naomi Asagi・Kotaro Shiratori・Masakazu Komatsuzaki・Youji Nitta・Fumitaka Shiotsu・Tashiaki Kokubo (The College of Agriculture, Ibaraki University)</p>	55	<p>100157 熱帯におけるデンブン蓄積ヤシの生産性 ーその他ヤシ類ー 山本由徳 (高知大学農学部)</p>

一般講演 3月28日(土)(第2日)

● 優秀発表賞エントリー演題

講演時刻	第1会場		第2会場	
	講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属
11:30 ～ 11:45	21	<p>100029 育苗試験による水稲種子温湯消毒時の高温耐性の品種比較 村田 和優*¹⁾・藤田健司¹⁾・ 柏木めぐみ²⁾・金勝一樹²⁾ (¹⁾ 富山県農林水産総合技術センター, ²⁾ 東京農工大学)</p>	56	<p>100144 宮古島の暗赤色土における土壌蓄積リンの再利用・循環に関する研究Ⅲ 前里和洋*^{1,2)} D1・小宮康明²⁾・ 上野正実¹⁾・川満芳信¹⁾ (¹⁾ 琉球大学農学部, ²⁾ 鹿児島大学大学院連合農学研究科)</p>
11:45 ～ 12:00	22	<p>100014 出穂前の気温が極短穂稲発酵粗飼料専用品種「たちあやか」の穂長に及ぼす影響 中込弘二*¹⁾・神田則昭²⁾・福寫陽³⁾・ 藤本寛¹⁾・出田収¹⁾・重宗明子¹⁾ (¹⁾ 農研機構 近畿中国四国農業研究センター, ²⁾ 広島県立総合技術研究所畜産技術センター, ³⁾ 農研機構 東北農業研究センター)</p>	57	<p>100139 Tree Litter Effects on Continuous Cropping of Turmeric (<i>Curcuma</i> spp.) in Three Okinawan Soil Types Yu Shishido *¹⁾ M2★・ Md. Amzad Hossain²⁾・ Masanobu Tamaki²⁾ (¹⁾ University of the Ryukyus, Graduate School of Agriculture, ²⁾ Subtropical Field Science Center, University of the Ryukyus)</p>

Memo

一般講演 3月28日(土)(第2日)

● 優秀発表賞エントリー演題

講演時刻	第1会場		第2会場		第3会場	
	講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属
13:00 ～ 13:15	23	<p>100010 稲発酵粗飼料用品種「たちあやか」の粒数に及ぼす施肥法の影響 松下景*^{1,2)}・長岡一朗¹⁾・ 笹原英樹¹⁾・前田英郎¹⁾・ 高橋能彦²⁾・渡邊肇²⁾ (1) 農研機構 中央農業総合研究センター, (2) 新潟大学大学院自然科学研究科)</p>	58	<p>● 100134 北海道における普通ソバ早生品種の発育特性と収量構成要素 笠島真也*・関口雄太・伊藤博武 (東京農業大学生物産業学部)</p>	80	<p>● 100121 光呼吸によるCO₂ロスとの関連から見たイネ科C₃植物葉におけるミトコンドリアの細胞内配置 畠山友翔*^{D2*}・上野修 (九州大学大学院生物資源環境科学府)</p>
13:15 ～ 13:30	24	<p>100218 事前耕起・整地および不耕起播種による水稲乾田直播の収量性 大下泰生*・小島誠・牧夏海・ 安本知子 (農研機構 中央農業総合研究センター)</p>	59	<p>● 100112 Effect of Planting Density on Sugar Yield in Sweet Sorghum Toshiaki Kokubo*・ Kazuki Hirayama^{G4}・Youji Nitta・ Naomi Asagi・Fumitaka Shiotsu (The College of Agriculture, Ibaraki University)</p>	81	<p>● 100116 イネ科C₄植物葉のミトコンドリア呼吸特性 PCK型とNADP-ME型およびNAD-ME型との比較 畠山友翔*^{D2*}・上野修 (九州大学大学院生物資源環境科学府)</p>
13:30 ～ 13:45	25	<p>100213 水稲多収品種における気候登熟量示数の栽培地および出穂期による変動 長田健二*¹⁾・大角壮弘²⁾・ 吉永悟志²⁾・中野洋³⁾ (1) 農研機構 近畿中国四国農業研究センター, (2) 農研機構 中央農業総合研究センター北陸研究センター, (3) 農林水産技術会議事務局)</p>	60	<p>100104 麦わら処理後の田面水がレタスとコマツナの発芽に及ぼす影響 秀島好知*¹⁾・有馬進²⁾・ 鈴木章弘²⁾・清田梨華¹⁾ (1) 佐賀県農業試験研究センター, (2) 佐賀大学農学部)</p>	82	<p>● 100087 大気CO₂濃度上昇がアフリカイネ <i>Oryza glaberrima</i> Steud. の乾物生産に及ぼす影響 舛谷悠祐*¹⁾・熊谷悦史²⁾・松波麻耶²⁾・黒田榮喜¹⁾・下野裕之¹⁾ (1) 岩手大学農学部, (2) 農研機構 東北農業研究センター)</p>
13:45 ～ 14:00	26	<p>100199 硬質小麦品種「ゆめあかり」の肥効調節型肥料を用いた省力施肥技術体系の確立 黒野綾子*・船生岳人・井手康人・ 平岩確・林元樹・野々山利博 (愛知県農業総合試験場)</p>	61	<p>100219 線虫抑制性飼料作物パリセードグラスの広条播種栽培 安達克樹*・立石靖・上杉謙太・ 鈴木崇之・岩堀英晶・金子真・山田明央・小林良次 (農研機構 九州沖縄農業研究センター)</p>	83	<p>● 100068 個葉の光合成誘導反応が圃場条件での積算光合成量におよぼす影響についての一考察 田中佑*・本間香貴 (京都大学大学院農学研究科)</p>
14:00 ～ 14:15	27	<p>● 100106 早生のエンマーコムギ遺伝資源が国内向けデュラムコムギの作出を可能にする 丹野研一*¹⁾・河原太八²⁾・ 山根京子³⁾・田中宏美¹⁾・ 鎌田英一郎¹⁾^{D2}・荒木英樹¹⁾・ 高橋肇¹⁾ (1) 山口大学農学部, (2) 京都大学農学研究科, (3) 岐阜大学応用生物科学部)</p>	62	<p>● 100222 Validation of APSIM crop growth model for Japanese wheat varieties across N application rates: Step towards a decision support system for Japanese wheat farmers Salapadoru Hewawasamnuwan Piyashantha De Silva*^{D1}・Okada Kensuke・Takahashi Taro (Graduate School of Agricultural and Life Sciences, the University of Tokyo)</p>	84	<p>● 100027 The diversity of photosynthetic induction responses among 41 soybean genotypes Mochamad Arief Soleh*^{1,2)}・ Yu Tanaka¹⁾・Steven Huber³⁾・ Tatsuhiko Shiraiwa¹⁾ (1) Graduate School of Agriculture, Kyoto University, (2) Faculty of Agriculture, Padjadjaran University, (3) University of Illinois, Urbana-Champaign)</p>

一般講演 3月28日(土)(第2日)

● 優秀発表賞エントリー演題

第4会場		第5会場		講演時刻
講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属	
103	<p>● 100242</p> <p>宮古島におけるサトウキビ搾汁液 Cl⁻ 含有率と収量、糖度および土壌 Cl⁻ 含有率との関係 渡邊健太*^{1,2)} D1・前里和洋^{1,2)} D1・松原拓磨¹⁾ M1・寶川拓生¹⁾ M1・上野正実¹⁾・川満芳信¹⁾ (1) 琉球大学農学部, 2) 鹿児島大学大学院連合農学研究科)</p>	125	<p>● 100247</p> <p>A possible allelopathic compound in Cymbopogon nardus root extracts Suwitchayanon Prapaipit*^{M2}・Kato-Noguchi Hisashi (Faculty of Agriculture, Kagawa University)</p>	13:00 ~ 13:15
104	<p>● 100240</p> <p>栽培土壌および収穫時期の違いがポタンボウフウの生産性と機能性成分に与える影響 田島宏徳*¹⁾・渡邊健太^{1,2)}・森田大智¹⁾・儀間真一³⁾・上原直子¹⁾・川満芳信¹⁾・諏訪竜一¹⁾ (1) 琉球大学農学部, 2) 鹿児島大学大学院連合農学研究科, 3) 琉球大学機器分析支援センター)</p>	126	<p>100174</p> <p>水耕液中の Cs 濃度の違いがダイズ体内の Cs 分配率に与える影響 森美穂子*・二瓶直登・大前芳美^{PD}・廣瀬農・田野井慶太郎・中西友子 (東京大学大学院農学生命科学研究科)</p>	13:15 ~ 13:30
105	<p>100230</p> <p>タンザニア産インディカ品種の粘性と硬度 加藤太*・倉内伸幸 (日本大学生物資源科学部)</p>	127	<p>100155</p> <p>水稻玄米品質と種子休眠との関係及び浸種条件の検討 板谷越重人*^{1,2)} D3・伊丹翼³⁾・澁川洋¹⁾・水澤誠一¹⁾ (1) 新潟県農業総合研究所作物研究センター, 2) 新潟大学大学院自然科学研究科, 3) 新潟県農業大学校)</p>	13:30 ~ 13:45
106	<p>100209</p> <p>デンブン易糊化性変異を導入した水稻準同質遺伝子系統の育成および易糊化性遺伝子 <i>Lgt1</i> のファインマッピング 梅本貴之*¹⁾・池ヶ谷智仁¹⁾・福岡修一²⁾・松葉修一¹⁾・横上晴郁¹⁾ (1) 農研機構 北海道農業研究センター, 2) 農業生物資源研究所)</p>	128	<p>100103</p> <p>インド型稲 IR64 を遺伝背景とする水稻の発芽率・苗の初期生育量を高めるコシヒカリ由来の第7染色体上遺伝子座 福田あかり*・寺尾富夫 (農研機構 中央農業総合研究センター・北陸研究センター)</p>	13:45 ~ 14:00
107	<p>100187</p> <p>高速せん断処理により作製した高アミロース米ゲルの物性と澱粉鎖長構造との関係解明 藤田かおり*¹⁾ PD★・藤田直子²⁾・保坂優子²⁾・柴田真理朗³⁾・粉川美踏¹⁾ PD★・蔦瑞樹¹⁾・Vipavee Trivittayasil^{1)PD★}・杉山純一¹⁾ (1) 農研機構 食品総合研究所, 2) 秋田県立大学, 3) 東京海洋大学)</p>	129	<p>100069</p> <p>鉄コーティング種子の活性化処理の有無が発芽に与える影響 桑川晃伸*¹⁾・星一好¹⁾・倉井耕一²⁾ (1) 栃木県農業試験場, 2) 株式会社クボタ)</p>	14:00 ~ 14:15

一般講演

3月28日(土)(第2日)

● 優秀発表賞エントリー演題

講演時刻	第1会場		第2会場		第3会場	
	講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属
14:15 ~ 14:30	28	<p>● 100046</p> <p>開花期の硫安追肥および尿素の葉面散布がコムギ品種「せときらら」の子実タンパク含有率および登熟期間中の器官別窒素含有量に及ぼす影響</p> <p>鎌田英一郎*¹ D2★・高橋肇²・内田早耶香² M2・池尻明彦³・内山亜希³・金子和彦³・荒木英樹²・丹野研一²</p> <p>(¹ 鳥取大学連合農学研究科, ² 山口大学農学部, ³ 山口県農林総合技術センター)</p>	63	<p>100178</p> <p>携帯電話のカメラ機能で取得した画像を用いたイネの生育診断</p> <p>大橋善之*¹・林健¹・小林俊博¹・小野山博之² D3★・村主勝彦²・富永溪太³</p> <p>(¹ 京都府農林水産技術センター, ² 京都大学大学院農学研究科, ³ 京都大学農学部)</p>	85	<p>● 100025</p> <p>ダイズ高光合成系統の個葉における生理・形態的特性の解明</p> <p>迫田和馬*¹ M1・田中佑^{1,2}・白岩立彦¹・Randall Nelson²</p> <p>(¹ 京都大学大学院農学研究科, ² イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校)</p>
14:30 ~ 14:45	29	<p>100250</p> <p>飼料用トウモロコシにおける雄穂発達期の耐冷性に関する育種の改良の可能性</p> <p>林拓*^{1,2}・牧野司¹・中村直樹¹・岩間和人²</p> <p>(¹ 北海道立総合研究機構 根釧農業試験場, ² 北海道大学大学院農学院)</p>	64	<p>100154</p> <p>北海道の春まきコムギにおける生育予測法の検討</p> <p>菅原彰*¹・田縁勝洋¹・足利奈奈²・来嶋正朋²・井上哲也³・佐藤三佳子⁴・平井剛¹</p> <p>(¹ 北海道立総合研究機構 十勝農業試験場, ² 北見農業試験場, ³ 上川農業試験場, ⁴ 中央農業試験場)</p>	86	<p>● 100024</p> <p>イネ直立穂品種と非直立穂品種の交雑集団における高光合成系統の探索</p> <p>大石晃史*¹ M1★・田中佑¹・徐正進²・白岩立彦¹</p> <p>(¹ 京都大学大学院農学研究科, ² 瀋陽農業大学)</p>
14:45 ~ 15:00	30	<p>100138</p> <p>エジプトナイルデルタのトウモロコシの光合成速度, 収量, 水利用効率に及ぼす細溝灌漑の影響</p> <p>久保田亜希*¹ PD★・福永健太郎²・Yosri I. Atta³・Ahmed M. Abd El-Fattah³・丸山幸夫¹</p> <p>(¹ 筑波大学生命環境系, ² 筑波大学生物資源学類, ³ National Water Research Center, Egypt)</p>	65	<p>100131</p> <p>山梨県におけるコムギ「ゆめかおり」の発育モデルを用いた出穂期予測</p> <p>上野直也*・石井利幸</p> <p>(山梨県総合農業技術センター)</p>	87	<p>100009</p> <p>三重県のダイズ在来品種「美里在来」の乾物生産における土壌水分応答</p> <p>長菅輝義*・福永敦史・東千葉実・梅崎輝尚</p> <p>(三重大学大学院生物資源学研究科)</p>
15:00 ~ 15:15	31	<p>● 100113</p> <p>牛ふん堆肥由来放射性セシウムのデントコーンへの移行量は少ない</p> <p>浅木直美*・高橋里佳・西脇淳子・安江健・小松崎将一・塩津文隆・小久保敏明・新田洋司</p> <p>(茨城大学農学部)</p>	66	<p>100082</p> <p>東北地域の水稻作における出穂後の気温条件に基づく高温障害リスクの算定</p> <p>松田晃*¹・神田英司²</p> <p>(¹ 山形県農業総合研究センター, ² 鹿児島大学農学部)</p>	88	<p>● 100226</p> <p>光合成速度を高める量的形質遺伝子座(QTL)を集積した水稻の葉の光合成速度および子実・乾物生産特性</p> <p>—日本型品種コシヒカリ染色体断片をインド型品種タカナリ の第1染色体と第7染色体に置換した水稻を用いて—</p> <p>跡部雅史*¹ M1・安達俊輔²・青莉紗子¹・山本敏央³・上田忠正³・大川泰一郎¹・平沢正¹</p> <p>(¹ 東京農工大学大学院農学府, ² 東京農工大学グローバルイノベーション研究機構, ³ 農業生物資源研究所)</p>
15:15 ~ 15:30	32	<p>100183</p> <p>Biomass Production of Sweet Sorghum in Damaged Agricultural Land by Tsunami and/or Radioactive Material in Minamisoma, Fukushima Prefecture</p> <p>Fumitaka Shiotsu*・Toshiaki Kokubo・Naomi Asagi・Akira Kato・Youji Nitta</p> <p>(The College of Agriculture, Ibaraki University)</p>	67	<p>100163</p> <p>イネ極穂重型品種の登熟に対するOsAGPS2, OsAGPL2 およびOsSUT1 座上アレルの効果</p> <p>加藤恒雄</p> <p>(近畿大学生物理工学部)</p>	89	<p>● 100090</p> <p>土壌水分ストレス下におけるNERICAの穎花退化率の品種間差の解析</p> <p>樋口桃子*¹・坂上潤一²・丸山幸夫³</p> <p>(¹ 全国農業協同組合連合会営農・技術センター, ² 鹿児島大学農学部, ³ 筑波大学生命環境系)</p>

一般講演 3月28日(土)(第2日)

● 優秀発表賞エントリー演題

第4会場		第5会場		講演時刻
講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属	
108	<p>100145 早期栽培「コシヒカリ」における その他未熟粒(充実不足粒)の発生 を助長する登熟期間の気象条件 赤木浩介*・坂田雅正 (高知県農業技術センター)</p>	130	<p>● 100057 ダイズ葉柄の伸長の規則性に関する 研究 大橋宗真*¹⁾・長菅輝義²⁾・ 長屋祐一²⁾・梅崎輝尚²⁾ (1) 三重大学生物資源学部, ²⁾ 三重 大学大学院生物資源学研究科)</p>	14:15 ~ 14:30
109	<p>100141 大規模経営稲作農家水田における 収量および米粒品質の作期による 影響 新田洋司*・木内将高・浅木直美・ 塩津文隆・小久保敏明 (茨城大学農学部)</p>	131	<p>● 100248 Allelopathic activity of <i>Acacia</i> <i>concinna</i> pod extracts Boonmeesut Jaritpan*・ Kato-Noguchi Hisashi (Kagawa University)</p>	14:30 ~ 14:45
110	<p>100076 ダイズ発芽種子抽出液添加による 炊飯米の溶出アミロペクチンおよ びその他溶出糖量の増加 阿部利徳*¹⁾・横田真一²⁾ (1) 山形大学農学部, ²⁾ 株式会社カ ネカフロンティアバイオ・メディカル 研究所)</p>	132	<p>100055 ダイズ開花期前のステージにおけ る放射性セシウムとカリウムの吸 収特性 平山孝*¹⁾・慶徳庄司¹⁾・二瓶直登²⁾ (1) 福島県農業総合センター, ²⁾ 東 京大学大学院農学生命科学研究 科)</p>	14:45 ~ 15:00
111	<p>100040 炊飯条件が各種炊飯米の澱粉酵素 分解性および食後血糖値に及ぼす 影響 佐々木朋子*・奥西智哉・五月女格・ 岡留博司 (農研機構 食品総合研究所)</p>	133	<p>100042 The Potency of <i>Streptomyces thermocarboxy</i> <i>to Control the Cause of Leaf Rot Disease on</i> <i>Aloe Vera Plant (Aloe barbadensis Mill.) in Bali</i> Retno Kawuri*¹⁾・D. N. Suprpta²⁾・Youji Nitta³⁾・ Made Sudana²⁾・Putu Ristiati⁴⁾ (1) Dept. Biology F-MIPA Udayana University, Bali, Indonesia, ²⁾ Agriculture Faculty Udayana University, Bali, Indonesia, ³⁾ The Collage of Agriculture, Ibaraki University, Japan, ⁴⁾ Dept. Biologi Undiksha, Bali, Indonesia)</p>	15:00 ~ 15:15
112	<p>● 100037 茨城県産良食味米「ふくまる」お よび「一番星」に認められた理化学 的的特性と炊飯米の微細骨格構造 の特徴 天井友加里*¹⁾・新田洋司¹⁾・ 浅木直美¹⁾・塩津文隆¹⁾・ 小久保敏明¹⁾・塚本心一郎²⁾ (1) 茨城大学農学部, ²⁾ 茨城県農業 総合センター農業研究所)</p>	134	<p>100017 長野県における雑草イネ対策マ ニュアルの普及と組織的な防除方 策について 酒井長雄*¹⁾・細井淳¹⁾・宮原薫²⁾・ 渡邊寛明³⁾ (1) 長野県農業試験場, ²⁾ 長野県農 業技術課, ³⁾ 農研機構 中央農業総 合研究センター)</p>	15:15 ~ 15:30

一般講演

3月28日(土)(第2日)

● 優秀発表賞エントリー演題

講演時刻	第1会場		第2会場		第3会場	
	講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属
15:30 ～ 15:45	33	<p>100109 東日本大震災津波被災地における土地利用型営農技術の実践 湯川智行*¹⁾・大黒正道¹⁾・大谷隆二¹⁾・齋藤秀文¹⁾・関矢博幸¹⁾・冠秀昭¹⁾・中山壮一¹⁾・松波寿典¹⁾・篠遠善哉¹⁾・池永幸子¹⁾・氷見英子¹⁾・齋藤保²⁾・白土宏之¹⁾・牧原邦充³⁾・佐々木哲⁴⁾・宮路広武¹⁾・磯島昭代¹⁾・菅野博英⁵⁾・長坂善禎¹⁾・渡邊寛明¹⁾・大川茂範⁵⁾・大江高穂⁵⁾・小竹一男⁶⁾・佐々木次郎⁵⁾・平直人⁵⁾・星信幸⁵⁾・猪野亮⁵⁾・相花絵里⁵⁾・大込敏夫⁷⁾・林和信¹⁾・中村隆三³⁾・森本英嗣⁸⁾・高木敏彰⁹⁾・渡邊朋也¹⁾・関野幸二¹⁾・平藤雅之¹⁾・吉田智一¹⁾・高津戸史朗¹⁰⁾・山崎富弘¹¹⁾・渡邊浩司¹¹⁾・島村博¹²⁾ (¹⁾農研機構, ²⁾スガノ農機, ³⁾クボタ, ⁴⁾小泉商事, ⁵⁾宮城県古川農試, ⁶⁾ヤンマー, ⁷⁾井関農機, ⁸⁾石川県農総研, ⁹⁾ヤンマーヘリ&アグリ, ¹⁰⁾NEC, ¹¹⁾富士通, ¹²⁾イーラボエクスベリエンズ)</p>	68	<p>100140 穎果の登熟優先度調節系がイネの登熟と品質に及ぼす影響 中村貞二*・大勝慶子・国分牧衛 (東北大学大学院農学研究科)</p>	90	<p>● 100035 栄養成長期における土壌水分ストレス下での水稲根の発達とアクアポリン遺伝子発現 松波麻耶*^{1,3)} PD★・村井(羽田野)麻理¹⁾・林秀洋^{1,4)D3}★・石川(櫻井)淳子²⁾ (¹⁾農研機構 東北農業研究センター, ²⁾農研機構 作物研究所, ³⁾日本学術振興会特別研究員 RPD, ⁴⁾岩手大学大学院連合農学研究科)</p>
15:45 ～ 16:00	34	<p>100045 放射性セシウムの体内分配における作目間比較 藤村恵人* PD・石川哲也・久保堅司・太田健 (農研機構 東北農業研究センター)</p>	69	<p>100111 水稲の穎果の登熟動態による穂内の同化産物分配パターンの説明 塚口直史*・道元俊宏^{M2} (石川県立大学)</p>	91	<p>100043 移植苗の根損傷が塩土壌における耐塩性が異なるイネ品種の生育収量に及ぼす影響 津田誠*¹⁾・岸元那津実²⁾・平井儀彦¹⁾ (¹⁾岡山大学大学院環境生命科学研究科, ²⁾岡山大学農学部)</p>
16:00 ～ 16:15	35	<p>100251 福島県浪江町被災水田におけるイネ科多年生バイオマス作物の栽培試験 阿部淳*¹⁾・松田浩敬²⁾・小林奈通子³⁾・関谷信人³⁾・我有満⁴⁾・山田敏彦⁵⁾・森田茂紀⁶⁾ (¹⁾東海大学農学部, ²⁾東京大学大学院新領域創成科学研究科, ³⁾東京大学大学院農学生命科学研究科, ⁴⁾農研機構九州沖縄農業研究センター, ⁵⁾北海道大学環境科学院, ⁶⁾東京農業大学農学部)</p>			92	<p>● 100053 近縁野生種を利用したマメ科作物の環境ストレス耐性改良の可能性 井関洸太郎*¹⁾・高橋有^{1,2)}・武藤千秋¹⁾・内藤健¹⁾・友岡憲彦¹⁾ (¹⁾農業生物資源研究所, ²⁾日本学術振興会特別研究員)</p>

一般講演 3月28日(土)(第2日)

● 優秀発表賞エントリー演題

第4会場		第5会場		講演時刻
講演番号	タイトル・著者・所属	講演番号	タイトル・著者・所属	
113	<p>100006</p> <p>新潟県産「コシヒカリ」における食味計に対する粒厚選別および光学選別の効果</p> <p>神戸崇*・白矢武士・橋本憲明・重山博信・松井崇晃・奈良悦子・石崎和彦</p> <p>(新潟県農業総合研究所作物研究センター)</p>			15:30 ~ 15:45
114	<p>● 100237</p> <p>沖縄県北部酸性土壌におけるメラルーカの栽培とその精油成分に関する研究</p> <p>佐々木章伍*¹⁾・谷口真吾¹⁾・高嶋敦史¹⁾・小野朋典²⁾・渡邊健太^{1,3)}・川満芳信¹⁾・諏訪竜一¹⁾</p> <p>(¹⁾ 琉球大学農学部, ²⁾ 琉球大学理学部, ³⁾ 鹿児島大学大学院連合農学研究科)</p>			15:45 ~ 16:00
				16:00 ~ 16:15